

第5回 移民コミュニティの言語生活研究会

日本には約220万人の外国人が外国人登録をしながら滞在し、これに未登録の滞在者約9万人を加えると、約230万人を超えます。全国各地で日本人の配偶者、留学生、研修生など多様な在留資格を持つ人たちが生活を営んでいます。浜松市や豊田市などのような、いわゆる外国人集住地域についてはこれまでさまざまな調査研究がなされていますが、まだまだ調査が及んでいない散在地域は少なくありません。

移民コミュニティの言語生活研究会は、地域における外国人の言語生活に焦点を当てた研究会です。特に、これまで全国的に知られてこなかった富山県のパキスタン人住民の言語生活の実態について取り上げ、外国人支援の関係者、研究者とともに富山におけるパキスタン人住民を含む外国籍住民と日本人住民の共生の在り方を模索していくことを目指します。

第5回移民コミュニティの言語生活研究会のテーマは、「越境する子どもたちの経験と教育支援のありかた—富山に住む外国人の子どもたち—（仮題）」です。親とともに国を越えて移動する子どもたちへの教育支援は日本でも自治体を中心にさまざまな取り組みがなされています。その一方で、子どもや親御さんたち当事者が中心となる取り組みも最近見られるようになりました。富山でも Toyama International Educational Society (TIES) が昨年設立され、パキスタン人の子どもたちを中心に英語や算数等を学んでいます。第5回研究会では、外国人当事者の視点からの教育支援についての講演と、富山県に住む外国人の子どもたちの教育支援について外国人当事者の立場と日本人支援者の立場からパネルセッションを行います。

【日時】2015年03月22日(日曜日) 13:00-16:30

【場所】アイザック小杉文化ホールラポール 研修室1 (富山県射水市戸破1500)

www.imizubunka.or.jp/rapport/ (会場にはできるだけ公共交通機関を利用してお越し下さい)

【テーマ】越境する子どもたちの経験と教育支援のありかた—富山に住む外国人の子どもたち—

【プログラム】

13:00-13:05 趣 旨 説 明

13:05-14:05 講演1. 「「トランスナショナルな家族の教育戦略—日系ブラジル人を事例として」

(関西大学・山ノ内裕子)

14:05-15:00 講演2. 「「Toyama International Educational Society(TIES)の挑戦 (仮題)」

(TIES)

15:00-15:20 休 憩

15:20-16:25 パネルセッション

「移動する子どもたちへの学習支援を考える—当事者の視点から見えてくるもの—」

(山ノ内裕子, TIES, 武田エレナ, 田上栄子, 中河和子)

16:25-16:30 閉会と次回のアナウンス

◆移民コミュニティの言語生活研究会◆

研究会責任者：福永由佳 (国立国語研究所・研究員), 共催：日本語教育機関 トヤマ・ヤポニカ

*この研究会は、国立国語研究所日本語教育研究・情報センター共同プロジェクト「多文化共生社会における日本語教育研究」の一環です。

<問い合わせ先 >

福永由佳

電話 (042) 540-4300 (所属機関代表)

Email:ynonami@ninjal.ac.jp

トヤマ・ヤポニカ

電話 (076) 423-2737

Email:japonica@fsinet.or.jp